

従業員のモチベーションについて

第二回青年部合同研修会 Cグループ

平成29年4月15日 於:ホテルポートプラザちば

■なぜ、従業員のモチベーションが上がった方が良いのか？

- 個々のパフォーマンスが上がり業績アップにも繋がる
- 人が定着する(離職率が低くなる)



- 組織が成長する！
 - ◎技術力・生産性up
 - ◎コミュニケーション向上
 - ◎従業員が自社の良き発信者となる

■各々の自社で抱えている問題は？

- ・周囲から理解され難い職種 家族の理解必要
- ・朝の時間がルーズ(遅刻)
- ・業界が従業員不足、新しい社員が定着しない
- ・新入社員の教育・維持をどうすればよいか悩む
- ・若者が管理職になりたがらない
- ・考える力がないように感じる
- ・年配の方が変化を嫌う状況があり、若者などの周りを捲込んでしまう
- ・給与がほしいと言われる(給与額をどう決めるか?)
- ・社員同士の擦れ違い・社長の直接的意見が聞きたい

■賃金を増やさなくても従業員のモチベーションを高めるには何が必要か？

※報酬などの外発的動機によるやる気は一時的なもの。継続的な内発的動機を高める必要がある。

- ・経営者側が仕事をして頂いてるとの想いで社員とコミュニケーションを図る
- ・お客様とのコミュニケーションにより、従業員の仕事環境をより良いものとする
- ・責任を持たせることによって達成感を得る
- ・具体性を持って褒める
- ・経営者がきちんと社員を見ていることが伝わる環境

■具体的にどんな取り組みができるか？

- ・朝礼
- ・ミーティング
- ・話易い雰囲気作り
- ・ありがとうボードを設置して従業員同士で連絡する仕組み利用
数・内容に応じ人事評価に反映
- ・誕生日を祝う
- ・従業員家族新年会
- ・定期的イベントを企画実施
- ・改善してほしいことを経営者が率先して取組む
- ・従業員の食事(昼食等)・健康を気に掛ける
- ・社内教育による、仕事の意義を絶えず伝える

■まとめ

- ・自分の仕事がどれだけ社会に貢献できているかを理解してもらう
- ・会社と個人の信頼関係を築くこと

(フィードバック・目標・インセンティブ)